

蕨連協運営体制(令和3年度以降)の方向性について

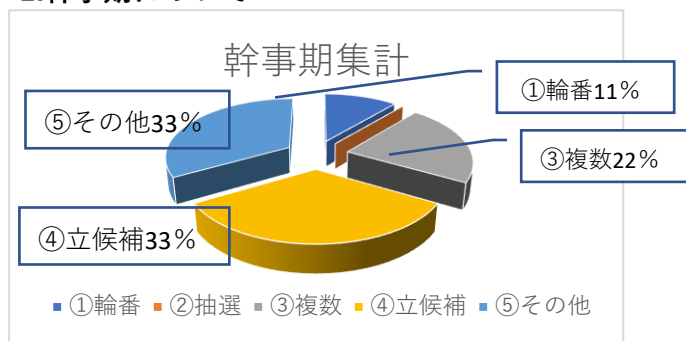
★★以下のとおり蕨連協理事会で議論した内容★★

主旨

蕨連協令和3年度以降の事業運営については、29期を次期幹事期として計画していたが、蕨連協へ未加入であることから幹事期等運営体制の方向性を検討する。方針決定の参考とするため、各会長等へ事前アンケートを実施した。アンケート内容を参考に、今後の運営体制を議論した。当面の課題事項として、①幹事期(運営期)の決定
②三大事業(GG、ウォーキング、演芸大会)について、開催有無について整理を図った。

アンケート結果その1

1.幹事期について



④立候補・⑤その他(会長の互選等)で全体の66%を占める。
①輪番、③複数合計で約33%であった。

〔幹事期(運営期)〕について、以上のアンケート結果及び、各期との意見交換を行い、以下の通り次期の幹事期を決定した。

★幹事期については、立候補及びその他(*各期会長で互選)で調整した。

結論⇒立候補制(自薦、他薦)で決定し、自薦による立候補者は、いなかった。
他薦として、24期の会長(正親会長)を推す声が多く、賛否により満場一致で決定。
なお、具体的ミッション(役割等)については、次回以降の理事会で整理する。

★その他のトピックス

①次年度について、期全体の高齢化等により蕨連協から退会したい旨の期が三期程あった。(現9期⇒6期へ)
※各期総会において、承認された場合正式に退会となる。

■今後、整理する課題等

- ①事務局の役割
- ②副会長等の選出(役員等の選出)
- ③年会費の見直し等(現状300円)
- ④解散期の扱い等
- ⑤事業運営(規模等)
- ⑥規約の見直し
- ⑦内規の見直し
- ⑧その他